

BUSINESS REPORT SOUGOU SHOUKEN

企業価値を高める
セールスプロモーション



CONTENTS

トップメッセージ	02
業績の推移	03
第40期トピックス	04
セグメント別業績	06
第41期の見通し	07
連結財務諸表	08
個別財務諸表	10
会社概要・株式の状況	11

株主・投資家の皆様へ

第40期 ビジネスレポート

平成 22年8月1日～平成 23年7月31日



総合商研株式会社

(証券コード：7850)

株主の皆様へ To Our Shareholders

株主の皆様には、平素より当社をお引き立て頂きまして、誠にありがとうございます。

また、東日本大震災で被災されました皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ここに第40期（平成22年8月1日～平成23年7月31日）のビジネスレポートをお届けするとともに、日頃の温かいご支援に心から厚く御礼申し上げます。

【業績の概要】

当連結会計年度における我が国経済は、新興国の経済成長による輸出の増加や政府の経済政策効果で一部に改善の兆しが見られたものの、急激な円高の進行や厳しい雇用情勢を背景とした個人消費の低迷、さらに東日本大震災の影響が懸念されることから、景気の先行きを見極めることが難しい状況となっております。

また、当社グループが位置する印刷・広告業界におきましても、企業の広告宣伝費の抑制姿勢が強まる中、同業者間の受注競争は激化しており、経営環境はさらに厳しさを増しております。

この様な環境の中、当社グループは、他社との差別化を図るため、地域情報誌「ふりつぱー」の発行拡大や、サイン・ディスプレイ及びWebサイトの制作、携帯電話向けの動画配信など積極的な展開を行うとともに、新規営業体制の強化や既存クライアントとの取引拡大を進めてまいりました。



代表取締役会長 加藤 優



代表取締役社長 片岡 廣幸

その結果、当連結会計年度の売上高は、震災の影響はあつたものの12,004百万円となりました。

一方、利益につきましては、伊勢原工場・旭川工場の設置に伴う諸費用の発生や、制作・営業体制の強化に伴う人件費の増加等により、営業損失は41百万円、経常損失は35百万円となり、当期純損失につきましては、のれん償却額の計上や繰延税金資産の取崩しにより、68百万円となりました。

今後も、経営環境の厳しさは続くものと思われますが、販売促進支援機能を強化した事業展開を進め、業績拡大に取り組んでまいります。

株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成23年10月

業績の推移

当社は、当期より連結決算に移行したため、平成22年7月以前の数値は、単体決算であり参考値です。

単位:百万円

	37期 平成20年7月期	38期 平成21年7月期	39期 平成22年7月期	40期(連結) 平成23年7月期
売上高	9,364	10,525	11,829	12,004
営業利益又は営業損失(△)	384	256	82	△41
経常利益又は経常損失(△)	381	253	85	△35
当期純利益又は当期純損失(△)	216	118	△9	△68
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(円)(△)	70.95	38.81	△3.11	△22.67
1株当たり配当金(円)	15	15	15	15
純資産	1,768	1,799	1,723	1,634
総資産	5,727	5,992	6,069	6,663
従業員数(人)	339	382	386	420

※△印は損失を示しております。



札幌市10区+近隣都市で 毎月83.1万部発行の地域新聞ふりっぱー

「地域新聞ふりっぱー」は札幌市10区および、近隣都市で83.1万部を発行する全戸宅配のフリーペーパーです。190万都市札幌を4版に分けて発行、世帯配布カバー率も86.1%と、北海道内の主要新聞媒体同一エリアの2倍以上の高い到達率を保持しています。また、新たな配布エリアとして、江別市大麻地区、北広島市大曲地区などの札幌市近隣の都市まで拡大、さらに多くの方々に情報をお届けしています。

配布活動を支える「ふりっぱーメイト」は、自社の配布組織であり、現在40代の主婦層を中心とする約1,300名で構成されています。また、地域に密着した情報をはじめ、旬を捉えた特集、札幌市および各区のお知らせなど、充実した内容で読者に興味を持っていただける誌面づくりを目指しています。

※2011年9月現在

売場連動や読者モデル起用、Web番組出演などクロスメディアの情報発信へ

ふりっぱー本誌では、誌面で特集した商品をタイアップした流通店舗内の特設コーナーで購入できる『売場連動企画』や、130名在籍の読者モデルを起用した『体験ツアー』など、つねに消費者目線を意識した誌面づくりをおこなっています。

その他にも、携帯動画として配信された本誌掲載動画を、パソコンでも閲覧できるよう、動画共有サイトYouTube内に『ふりっぱーTV』を開設し、世界中の人々に札幌市の情報を映像で紹介することを可能としました。その他、インターネット番組配信サイトUSTREAM内にて、毎週月曜日19時から放送されている『いいべさ北海道』では、ふりっぱー事業部員がレギュラーで出演、ふりっぱー本誌に掲載されているお得な情報を、楽しく紹介しています。

ふりっぱー活動概要 ①

配布エリアを拡大、さらに充実した誌面を提供



白石厚別版

札幌南版

札幌西版

札幌北東版

地域新聞ふりっぱー概要

- 発行部数: 831,000部
 - ポスティング部数: 786,000部
 - 発行: 每月月末発行
 - サイズ: A4判(24~32P)
 - 配布: ポスティング(一部置本)
- ※2011年9月現在



流通・メーカー・個店との連動企画も展開

ふりっぱー活動概要 ③

本誌連動と独自企画で会員増加へ、ふりっぱーWeb

【本誌連動企画】



本誌の二次元コードを
携帯電話で読み取り



ふりっぱーWeb画面へ

クリックすると動画開始

【オリジナル企画】

- 月刊アクセス数: 10万PV以上
 - メルマガ会員数: 8,500名以上
 - 会員構成: 約8割が20~40代女性
 - URL: <http://www.fripper.jp/>
- ※2011年9月現在

わんこよみにわんこよみ



なんでもやってみる

ふりっぱー活動概要 ②

読者モデル・モニター採用で消費者目線の媒体を目指します



読者モデルは約130名在籍



20~60代と幅広く採用



2011年7月号特集

- 読者モデル・モニター活動概要
- アンケート回答、トピック投稿
 - 商品モニターへの参加
 - ふりっぱー記事の取材・撮影
 - イベント・座談会への参加

ふりっぱー活動概要 ④

多種多様に展開するメディア活用



■URL:<http://www.youtube.com/user/fripperTV>

YouTube『ふりっぱーTV』

本誌との連動企画やふりっぱーWebで紹介した動画を、パソコンで閲覧できるサイトです。



■URL:<http://www.ustream.tv/channel/e-kita>

※2011年9月現在

USTREAM『いいべさ北海道』

毎週月曜日19時から札幌在住の外国人が身近な話題を楽しく、真面目に語るインターネット配信の番組。ふりっぱーはコーナー枠で出演しています。

旭川工場の設備拡充

旭川市を含む道東・道北方面のお客様の印刷物需要に迅速に対応するため、「オフセット輪転機」などの各設備を順次拡充しました。

5,300坪超の広大な敷地面積を確保した旭川工場は、道央道・鷹栖インターに隣接した交通の利便性も手伝い、従来の札幌工場単独では実現できなかつた納期の短縮にも繋がりました。

また、生産部門の拡充のみならず、営業・制作スタッフを常駐することにより、内製化を進め、コストを抑えた自社一貫生産体制を整備しました。

今後は、商業印刷のみならず、年賀状印刷の印刷・発送拠点としても活用を進めていきます。



(株)味香り戦略研究所との連携による販促強化

(株)味香り戦略研究所の株式を平成22年8月に追加取得し、子会社化しました。

同社は、「味覚センサー」を用いて、今まで感覚的にしか伝えられなかつた「酸味」「苦味」「旨味」などの味覚を視覚化し、食材仕入時の品質管理への活用や、食材が持つ味の特徴を生かした食べあわせを発見し、提案を行つてきました。次期は同社の強みに当社が培つてきた販売促進支援のノウハウを加え、食品流通業界において、上流の新商品開発サポートから下流の販売促進支援までの一貫体制によるサービス提供を強化いたします。



商業印刷事業

震災後の売上高は徐々に回復傾向

商業印刷事業におきましては、伊勢原工場・旭川工場の新設に伴う諸費用の増加がある中、年末商戦を中心としたチラシの受注が好調に推移し、上期は増収となりました。一方下期では、東日本大震災の影響により一時的に売上高が落ち込んだものの、5月より持ち直し、当事業の売上高は、9,419百万円となりました。地域別売上高の内訳としましては、北海道地区の売上高が4,788百万円、本州地区の売上高が4,631百万円となり、本州地区の売上比率が増加しました。

商業印刷事業売上高

単位：百万円



北海道対本州の売上高の比率



年賀状印刷事業

名入れ・パック年賀状共に取扱件数は増加

年賀状印刷事業におきましては、新規の大口顧客獲得を受け、生産体制の充実を図るため、北海道の白石工場に加えて、神奈川県にある厚木工場を本州方面対応用の年賀工場として設備転換しました。その結果、名入れ年賀状の取扱件数が813千件（前年同期比116.0%）と好調に推移し、また、パック年賀状の取扱件数が321万パック（前年同期比126.3%）と大幅に増加したことから、当事業の売上高は2,537百万円となりました。

年賀状印刷事業売上高

単位：百万円



名入れ年賀状取扱件数

単位：千件



パック年賀状取扱件数

単位：万パック



成長・発展・進化

売上増強と収益力の強化

生産性の向上

徹底したコスト低減

組織力の強化

連結業績予想

単位：百万円

売上高	13,600
-----	--------

営業利益	210
------	-----

経常利益	210
------	-----

当期純利益	120
-------	-----

1株当たり当期純利益	40円30銭
------------	--------

第41期は、一層の業績拡大を図るため、次の施策に取り組んでまいります。

売上の増強

- パッケージ印刷分野への新規参入
- 大口契約締結に伴う年賀状印刷の受注拡大

組織力の強化

- 組織体制の整備と人材の育成
- 重点事業・拠点への人員配置

グループ企業との連携

- 販促ツールの拡充
- 内製化による外注費の削減

連結財務諸表

■当社は、当期より連結決算に移行したため、それぞれの連結財務諸表には、前連結会計年度の表示は記載しておりません。

連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当連結会計年度 平成23年7月31日
資産の部	
流動資産	3,452
固定資産	3,211
有形固定資産	2,332
無形固定資産	94
投資その他の資産	783
資産合計	6,663
負債の部	
流動負債	2,463
固定負債	2,565
負債合計	5,028
純資産の部	
株主資本	1,565
資本金	411
資本剰余金	441
利益剰余金	734
自己株式	△ 22
その他の包括利益累計額	61
少数株主持分	7
純資産合計	1,634
負債純資産合計	6,663

連結損益計算書

単位:百万円

科目	当連結会計年度 自 平成22年8月 1日 至 平成23年7月31日
売上高	12,004
売上原価	8,749
売上総利益	3,255
販売費及び一般管理費	3,297
営業損失(△)	△ 41
営業外収益	76
営業外費用	69
経常損失(△)	△ 35
特別利益	10
特別損失	23
税金等調整前当期純損失(△)	△ 47
法人税、住民税及び事業税	3
法人税等調整額	24
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△75
少数株主損失(△)	△ 6
当期純損失(△)	△ 68

※△印は損失を示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当連結会計年度 自 平成22年8月 1日 至 平成23年7月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0
現金及び現金同等物の増減額	440
現金及び現金同等物の期首残高	1,151
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39
現金及び現金同等物の期末残高	1,632

配当について

当社グループは、株主の皆様へ利益還元を経営上の重要な課題として捉え、企業体质の強化及び今後の事業展開に備えた内部留保を勘案しながら、安定した配当を継続して行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、剩余金の処分につきましては、以下のとおりいたします。

1. 期末配当 1株につき 8円

(注)中間配当を含めた年間配当は、1株につき15円となります。

2. 支払開始日 平成23年10月31日(月)

連結株主資本等変動計算書 (自 平成22年8月1日 至 平成23年7月31日)

単位 : 百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
前期末残高	411	441	854	△1	1,706	16	16	—	1,723
連結会計年度中の変動額									
連結範囲の変動			△0		△0				△0
持分法の適用範囲の変動			△5		△5				△5
剰余金の配当			△45		△45				△45
当期純損失			△68		△68				△68
自己株式の取得				△21	△21				△21
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						44	44	7	52
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△120	△21	△141	44	44	7	△88
当期末残高	411	441	734	△22	1,565	61	61	7	1,634

個別財務諸表

貸借対照表

単位:百万円

科目	前事業年度 平成22年7月31日	当事業年度 平成23年7月31日
資産の部		
流動資産	3,044	3,404
固定資産	3,024	3,260
有形固定資産	2,126	2,291
無形固定資産	127	94
投資その他の資産	771	874
資産合計	6,069	6,664
負債の部		
流動負債	2,560	2,460
固定負債	1,784	2,565
負債合計	4,345	5,025
純資産の部		
株主資本	1,706	1,577
資本金	411	411
資本剰余金	441	441
利益剰余金	854	747
自己株式	△ 1	△ 22
評価・換算差額等	16	61
その他有価証券評価差額金	16	61
純資産合計	1,723	1,639
負債純資産合計	6,069	6,664

損益計算書

単位:百万円

科目	前事業年度 自 平成21年8月 1日 至 平成22年7月31日	当事業年度 自 平成22年8月 1日 至 平成23年7月31日
売上高	11,829	11,900
売上原価	8,644	8,709
売上総利益	3,185	3,190
販売費及び一般管理費	3,103	3,172
営業利益	82	18
営業外収益	66	70
営業外費用	63	54
経常利益	85	33
特別利益	4	9
特別損失	75	78
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	14	△ 34
法人税、住民税及び 事業税	2	2
法人税等調整額	21	23
法人税等合計	24	26
当期純損失(△)	△ 9	△ 61

※△印は損失を示しております。

会社概要・株式の状況

会社概要

商 号	総合商研株式会社
本 社 所 在 地	札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
設 立	昭和47年12月18日
資 本 金	411,920千円
従 業 員 数	420名(単体407名)
主 要 事 業	商業印刷事業 年賀状印刷事業 その他事業
事 業 所	本社、東京支社、大阪支社 旭川営業所、仙台営業所、和歌山営業所
工 場	本社工場、白石工場、旭川工場、 厚木工場、伊勢原工場
注)	帯広営業所は、平成23年3月31日をもって閉鎖しております。
子 会 社	プリントハウス株式会社 株式会社味香り戦略研究所
関 連 会 社	株式会社プリプレス・センター システムデザイン開発株式会社
事業パートナー	プロードアース株式会社

株式の状況

発行可能株式の総数 8,000,000株

発行済株式の総数 3,060,110株

株主数 793名

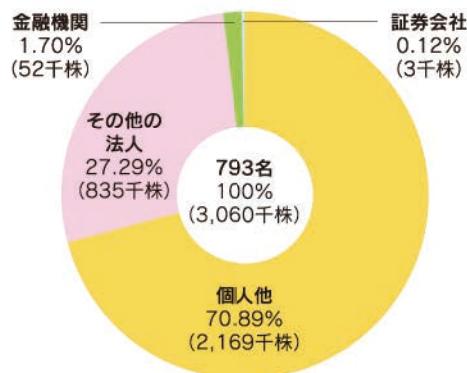
注)当社は自己株式82,518株を保有しており、上記株主数に含まれております。

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
加藤 優	738	24.15
株式会社小森コーポレーション	140	4.57
大日精化工業株式会社	140	4.57
総合商研従業員持株会	100	3.29
株式会社光文堂	100	3.27
小松印刷株式会社	100	3.27

株主分布状況

所有者別株式分布



取締役・監査役(平成23年10月28日現在)

代表取締役会長	加藤 優
代表取締役社長	片岡 廣幸
常務取締役	菊池 健司
取締役	高谷 真琴 菊地 弘人 小林 直弘
常勤監査役	大居 啓子
監査役	長谷 熱 山川 寛之

注)長谷熱氏および山川寛之氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎年10月開催
基準日	定時株主総会 毎年7月31日 期末配当金 每年7月31日 中間配当金 每年1月31日 その他必要がある時は、予め公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号
(電話照会先)	0120-176-417(フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/ STA/retail/service/daiko/index.html
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載して行います。 (電子公告掲載URL http://www.shouken.co.jp/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)
証券コード	7850

お問い合わせ

総合商研株式会社 企画管理本部
〒007-0802 札幌市東区東苗穂二条三丁目4番48号
電話:011-780-5677(代表)
<http://www.shouken.co.jp/>

株主優待のご案内

毎年7月31日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上の株式を保有されている株主の皆様に、次の株主優待を実施しております。

- 北海道の特産品(3,000円程度)のお届け
- 年賀状印刷の期間限定早期受付割引サービス
(通常料金から30%の割引)



総合商研株式会社

このビジネスレポートは、石油使用量と揮発性有機溶剤の発生を抑える為の植物油インキを使用し、回収廃液を発生させない「水なし印刷」方式で印刷しております。

